

# 都市再生整備計画(第1回変更)

しきしまちゆうしんきよてんちく  
敷島中心拠点地区  
(地方都市リノベーション事業)

やまなしけん か い し  
山梨県 甲斐市

平成26年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 様式1 目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	かいし 甲斐市	地区名	しきしまちゆうしゆよてんちく 敷島中心拠点地区(地方都市リノベーション事業)	面積	197.0 ha
-------	-----	------	------------	-----	---	----	----------

計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度
------	---------------------	------	---------------------

### 目標

- 大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進  
 目標1 安全で快適に暮らせるまちづくり  
 目標2 活気にあふれるまちづくり  
 目標3 心豊かで文化のかおるまちづくり

### 目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)  
 平成16年9月1日に三町の合併により誕生した本市は、均衡のとれた発展のため、地域の特性や役割などを考慮し、地域の核となる地区の基盤整備を行っている。  
 また、本地区は新市将来構想において、旧町役場を中心に新市の地域核となる重要な役割を担う地域として地域間のバランスや公共施設の適正配置を勘案し、機能整備及び面の整備を進めていく方針が示され、第1次甲斐市総合計画においても、本市の一層の発展に向け都市機能の拡散を抑制し、未利用地の活用や高度利用について総合的な土地利用を検討し、拠点となる地域の整備が主要事業として掲げられている。本地区は、路線バス・高速バス等の営業所(バス停)の交通結節点を中心とした中心拠点区域において市役所支所や市立図書館、都市公園等の都市機能の集積が図られ、西隣に隣接する甲府市と結ばれる県道沿線に立地している既存の商店街は、郊外部への大規模集客施設の立地などによる空洞化が進んでいるが、基盤整備によって公共交通網が完備されたことにより、地域住民の利便性の向上が図られ、地域の再編が進められている状況である。  
 都市全体の公的不動産の活用方針として、公共施設の統廃合及び老朽施設の建替え等については、類似施設の合築や市有地を活用した配置計画に基づく整備により、都市機能の拡散防止と既存ストックの有効活用を図り、こうした都市構造の再編により市域全体が将来にわたり持続可能なまちとして維持続けるコンパクトな市街地の形成を目指す。本地区においては、旧町役場跡地を中心に地域の都市構造再編を図るため、公共交通のアクセスポイントである路線バス、高速バス等の営業所を中心とした地域拠点周辺を「敷島中心拠点地区」として位置付け、敷島保育園については、旧町役場跡地に敷島保育園と(仮称)敷島子育てひろば(子育て世代活動支援センター)を併設した機能の移転配置を行い、また、老朽化し借地に立地する松島保育園については、老朽化と園児数減少に伴い閉園する市立幼稚園の解体跡地の市有地を活用して建替移転を行うことにより、公的不動産の有効活用を図る。

#### まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、平成16年9月1日に竜王町、敷島町、双葉町の合併により誕生し、それぞれの庁舎周辺を中心とした市街地から形成されている。
- 第1次甲斐市総合計画(平成18年3月)では、甲斐市の望まれる将来像を「緑と活力あふれる生活快適都市」と掲げ、基本政策として6つのまちづくりの方針を定めている。当該地区については、地域の特性を活かした計画的な土地利用の推進、市庁舎等、多様な地域拠点や地域資源を活かした観光交流拠点の育成、都市基盤整備や防災機能の向上、総合的な生活環境の充実などの方向性が示されている。
- 本市では、これまで、先導的なまちづくりプロジェクトとして、「竜王駅周辺地区」を対象に「まちづくり交付金事業」を活用し、平成16年度から平成20年度まで、竜王駅の橋上駅舎整備や竜王駅南通り線などの周辺道路整備及び竜王駅を中心としたコミュニティバスの試行運転などに取り組んだ。また、引き続き、地域の核となる地区の機能整備や面的な整備を行うため、第1次甲斐市総合計画に位置付けられているJR塩崎駅周辺地域の基盤整備を行い、利便性の向上と安全性の確保及びバリアフリー化に取り組んでいる。
- 当該地区に近接して、新市の新たな拠点である平成20年に供用開始となったJR竜王駅南北自由通路及び橋上駅舎や、平成21年に開設した中央高速自動車道の双葉スマートインターチェンジが整備され、地区内においては平成24年8月に近隣公園の島上条公園が供用開始され、都市機能が備わるまちづくりを推進している。

#### 課題

- 既設の保育施設は、老朽化し、また、公共交通機関などの利便性がよくないため、新たな保育施設整備にあたっては、都市機能の集約に向けた配置の見直しや機能の充実を図っていく必要がある。
- 都市化の進行や核家族化の進展に伴い、まちなかでの子育て世代の交流や文化活動などを支援する施設整備が求められている。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 【第1次甲斐市総合計画】(平成18年3月)  
 ○「都市機能の充実したまちづくり」を基本政策の一つに掲げ、拠点となる地域の整備、幹線道路の整備促進、市街地整備の推進により、拠点を中心に高度な都市機能が備わるまちづくりを進める。

#### 【甲斐市都市計画マスタープラン】(平成21年3月)

- 市街地では、高齢化等の人口問題や市街地の拡散に対応するため、交通結節点を中心に、医療・福祉、産業などの様々な機能を複合的に配置・集積させるとともに、市街地及び各拠点間を公共交通などにより連結されることで、便利でコンパクトな市街地の形成を目指す。



## 様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【都市機能の充実したまちづくりの整備】</p> <p>・本地区においては、地域特性に合った市街地整備を推進し、良好な生活空間の確保を目指した持続可能なコンパクトなまちづくりの展開が求められており、中心拠点区域内において子育て支援施設を整備することにより、地域の拠点形成を図る。</p>	<p>高次都市施設(基幹事業・地方都市リノベーション事業/(仮称)敷島子育てひろば建設事業) 地方都市リノベーション推進施設(基幹事業/敷島保育園整備事業、松島保育園整備事業)</p>
<p>事業実施における特記事項</p>	
<p>【官民連携事業】</p> <p>※都市再生整備計画区域内で、道路占有特例、河川敷地占有、歩行者経路協定、都市利便増進協定を活用する場合には記載する。</p>	



都市再生整備計画の区域

敷島中心拠点地区(山梨県甲斐市)	面積 197.0 ha	区域 中下条、島上条、境、天狗沢、大久保、牛匂
------------------	----------------	----------------------------

